

## “ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	19	事業名	男女共同参画推進事業費
------	----	-----	-------------

### 1 基本情報

実施日／班名	10月14日 第1班	時間	14:30～15:35
担当課名	くらし・環境部男女共同参画課	事業費	5,985千円

### 2 判定結果

結果	県民評価者 判定内訳(人)			
県の関与必要 (見直し・縮小)	判定区分	県の関与不要	5	
		県の関与必要	見直し・縮小	13
			現 行・拡充	10
	判定理由	結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由（人、複数回答有）		
		事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき		6
		効果がない、低い、不明確なため、事業内容を見直すべき		5
県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき		4		
事業の終期(期限)を設定すべき		4		
事業の効率化を図りコストを縮減すべき		3		

### 3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

#### 【県の関与不要】

- ・女性社会に生きて、ワークライフバランスはとれているので、数年前より社会は変化していると思う。子育てもしながら、周りはバイトもできている！それよりも保育所・託児所問題になる。
- ・自治会に女性参加は少ないと言っていたが、私の町内では組合、町内会(夏祭り、自治会費集金、ゴミ回収など)は逆に育児中の主婦、働く女性が中心として行っています。もっと男性の意識を高める必要はありませんか？
- ・効果が不明。男女共同参画社会づくり宣言事業所の登録を増やしても実質的な効果が不明確。(お飾り的な事業ではないか。)女性は優秀であり、十分に参画できていると思います。逆差別になってくる可能性もあります。
- ・DVキャンペーンは「21DV防止体制強化事業費」と重複。子育て支援事業に統合すべき事業。国に任せの方が効率的。女性のための労働組合を設立すべき(女性参画の推進)。
- ・現在男女格差はなくなってきており、能力主義が増加している。この中で何をしたいのかが分からない。個々の機会を与えるならば、国、企業の事業であり、県が携わる必要はないと思います。また、団体登録数は多いが、その実態は把握されているのでしょうか。
- ・業種により状況は多様なので、民間に任せるべき。一律に男女比率を決めても無理がある。
- ・施策を効果的に推進するには、街頭キャンペーンや県庁ロビーを使った活動にどれだけの人に参加(見学)できるのか疑問である。市町の協力が重大であることから、市町におろして草の根的に展開してはどうか。市町が主体的に推進する。

- ・基本法自体、国による目標と思うが、県各々の事業にて格差が出てはこないか
- ・もうすでに十分女性は大切にされているのでは。やる気のある女性が全女性を同じ考えにするのは問題であり、各々の考えを支持する。それより現在は、男を教育する方が大切ではないか。やる気のある男性を女性に願いたいほど、女性は強くなっているのでは？

#### 【県の関与必要（見直し・縮小）】

- ・指標として、育休女性の社会復帰率や男性の育休取得率など、客観的な数値があるといいと思います。もっと市町に動いてもらい、地元レベルで市内の事業所への働きかけなどをしてもらったり、企業の取組を調査したり、ということがあっていいと思いました。
- ・男女共同参画は、経済や子育ての分野と深いかかわりがあり、現場レベルでの具体的な環境整備もこの2つの分野で進められている感じがしました。極論を言えば、経済産業部や健康福祉部が常に男女共同参画の視点を持って業務を行うのであれば、男女共同参画課としては、各分野との連携・調整役、情報の取りまとめに徹することができるかなと思いました。
- ・事業概要の対象者が市町・県民となっているが、市町にできることなのではないか。県の仕事の一部を市町に委託してもいいと思う。
- ・今まで男女差別を感じたことがない。中学校のころは出席番号も男女混合だった。現在、職場で産休・育休を取っている人もたくさんいる。逆に男性職員の子どもは託児所を断られたと聞いた。大学時代の女友達は専業主婦になりたかったけど社会が許さないと嘆いた。「男」と「女」と「個性」と「能力」はそれぞればらばらなところにあるものだから、P165の指標を見直すべきだと思う。働いている女性の幸福度・満足度で計るとか？
- ・県東部（沼津）でもあり、この事業があることが知られていない、活用されていない気がする。
- ・事業の目的がいまいち分からないし、「呼びかけ」のようなことしかしていない。だから具体的な成果や結果が示されていない。何がどうだからどうしていくという具体的な事業にしてほしい。男女共同参画推進を宣言している事業所を増やすことだけで満足し、モニタリングができていない。
- ・男性の育児休業制度はあるが、実際に育児休業を取る男性はごく少ないと思う。（将来の昇進に影響するかも？）
- ・現在は女性が強くなり、男女平等とは言いがたい。雇用については、男女差別はないと思われる。
- ・以前に比べ十分に女性が社会に進出してきた。企業でも女性を重要なポストに付け、実質的な平等が進んできた。しかし、女性にしかなないことがある！男性の代わりにのポストに就かせても何か違う気がする。女性は結婚して子どもを生んでほしい。逆に弱い男性が増えた気がする。出産後の社会復帰は重要であるが、子育て支援を考えてもらいたい。離婚率も上がっている。母子家庭の支援も必要だが、離婚した方が生活が楽という女性も現状います。私の職場も女性中心ですが、離婚率は減少させなければいけないと思う。
- ・男女共同参画の目標は十分結果が出ているので、施設、設備、手段を考えてほしい。
- ・子育て対策での女性負担の軽減をどう解消するかが社会問題として深められるか？一事業所のみで解決できない問題であると思います。
- ・女性は子育てがあるため仕事をやめることが多いように思う。自分の会社では、少なくとも男女共同参画の指導等があるように感じない。保育所等が少ない市町村がある気がするので、そういった方に力を入れ、啓発的なことは縮小してよいのでは？NPO等に割り振れるものがあるのでは？
- ・男女差別をなくそう、機会の平等、結果の平等、機会の平等の推進。統計資料の出し方、考え方。子育て問題（子育て支援）、育児休業からの復帰、ワークライフバランス、女性の問題だけと捉えないで、男性の社会参加についても検討すべき。
- ・男女共同参画の推進に当って、女性を対象にしたセミナーを地方でももっとやってほしいと思います。

### 【県の関与必要（現行・拡充）】

- ・私の周囲には、適齢期に就職できない方が何人もいます。働きたい気持ちはすごくあるのにもったいないと感じます。私もそういう時期にあり、自分の人生をどのように生きたいのか悩むときがあります。試行的事業の子育て女性を対象にした応援セミナーはとても参考になると思いました。さくや姫プロジェクトのお祭りにも参加させていただいたことがあり、魅力的な女性をたくさん知る機会があり、そんな生き方をもっとたくさんの静岡女性に知っていただけたら、もっと静岡が元気になると思います。
- ・男女共同参画という堅苦しいネーミングはあまり今の時代にはそぐわない。人には男と女しかいないが、男と女が生活面、社会面で同じでなくてはならないということにはならない。男も女もできない生活スキルはないが、ただ女性が出産に絡まる育児（一定期間）は必ず付随する。男女平等と叫ぶ前に個人としてできることは、男も女も区別しないのできることに。今の講座はどちらかと言うと女性の講座の方が多いと感じていたが、一人になった男の生き方を楽しむ方法等、これからも男の参加が多くなれば、自然に男女共同の意味が理解できるのではないのでしょうか。
- ・説明があまり伝わらなかった。企業には育児、介護休業を取得しやすいようにアピールすべき。
- ・業種によりまだまだ程遠い業種（建設業等）が多い中で、がんばって推進を広めてほしい！
- ・男女共同参画宣言事業所の成果事例報告の発表機会を作り、その結果で表彰を実施してはどうか。
- ・男女共同参画と言っても、一言では分かりにくい部分が多いのですが、男女共同参画宣言推進事業で宣言した企業で実際にどのようなことをやっているのかが分かれば、今後、若い世代の人たちが企業を選ぶ上で参考になるのではないかと思います。
- ・宣言推進事業の実行及び環境整備ができるように県民に分かるようにアピールしてってもらいたい（特に育児休業・介護休業の取得がしやすいように）。母子家庭、父子家庭の支援はやっているようですが、難病を抱えた家庭支援はやっていただいているか不明。啓発事業がまだ理解されていないように思う。
- ・成果が数字で表しにくい事業だと思う。男性の目線を変えて、女性と同じ視点に立つことが大事だと思う。
- ・男女共同参画ということに対して私の周りでは認識がないに等しい。もう少し男女共同参画をPRしてほしい。私も土木の会社を営んでいますが、従業員が女性にはこの仕事はできない、というような固定観念を持っているみたいです（女性は現場に出られないという考え）。男女共同参画ということをもっと誰もが周知できるようにしてほしい。
- ・そのままでもいいのではないのでしょうか。就職活動の中で、女性の意識向上セミナーのようなものを実施していただきたいと思いました。
- ・就職活動の中で、やはり一般職と総合職では男女の雇用の差があるというのを強く感じています。就職活動のセミナーなどの一つとして、男女共同参画のセミナーを実施するということも必要なのではないかと思います。私も含め女だから一般職でいいやとってしまうので、女性の意識を向上させる取組に期待したいと思いました。